

降臨節第一主日

特祷

全能の神よ、み子イエス・キリストはわたしたちを顧み、謙遜なみ姿でこの世に

来られました。どうかいま、闇の業を捨てて、光のよろいを着る恵みを与え、終わりの日に生きている人と死んだ人を審くために栄光をもつて再び来られるとき、永遠の命によりみがえらせてください。

父と聖霊とともに一体であつて世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン

《旧約聖書》

イザヤ書

第63章 19b節から64章8節

19b どうか、天を裂いて降ってください。

御前に山々が揺れ動くように。

1 柴が火に燃えれば、湯が煮えたつように

あなたの御名が敵に示されれば

国々は御前に震える。

2 期待もしなかった恐るべき業と共に

降られれば

あなたの御前に山々は揺れ動く

3 あなたを待つ者に計らってくださいる方は

神よ、あなたのほかにはありません。

昔から、ほかに聞いた者も耳にした者も

目に見た者もありません。

4 喜んで正しいことを行

あなたの道に従って、あなたを心に留める者を

あなたは迎えてくださいます。

あなたは憤られました

わたしたちが罪を犯したからです。

しかし、あなたの御業によって

わたしたちはとこしえに救われます。

5 わたしたちは皆、汚れた者となり

正しい業もすべて汚れた着物のようになった。

わたしたちは皆、枯れ葉のようになり

わたしたちの悪は風のように

わたしたちを運び去った。

6 あなたの御名を呼ぶ者はなくなり

奮い立ってあなたにすがろうとする者もない。

あなたはわたしたちから御顔を隠し

わたしたちの悪のゆえに、力を奪われた。

7 しかし、主よ、あなたは我らの父。

わたしたちは粘土、あなたは陶工

わたしたちは皆、あなたの御手の業。

8 どうか主が、激しく怒られることなく

いつまでも悪に心を留められることなく

あなたの民であるわたしたちすべてに

目を留めてくださるように。

《使徒書》

コリントの信徒への手紙 一

第一章 一節から9節

1 神の御心によって召されてキリスト・イエス

の使徒となったパウロと、兄弟ソステネから、

2 コリントにある神の教会へ、すなわち、至る

ところでわたしたちの主イエス・キリストの名

を呼び求めているすべての人と共に、キリスト・

イエスによって聖なる者とされた人々、

召されて聖なる者とされた人々へ。イエス・キ

リストは、この人たちとわたしたちの主であり

ます。

3 わたしたちの父である神と主イエス・キリス

トからの恵みと平和が、あなたがたにあるよう

に。

4 わたしは、あなたがたがキリスト・イエスに

よって神の恵みを受けたことについて、いつも

わたしの神に感謝しています。5 あなたがたは

キリストに結ばれ、あらゆる言葉、あらゆる知識

において、すべての点で豊かにされています。

6 こうして、キリストについての証しがあなた

がたの間で確かなものとなったので、7 その

結果、あなたがたは賜物に何一つ欠けるところ

がなく、わたしたちの主イエス・キリストの現れ

を待ち望んでいます。8 主も最後まであなたが

たをしつかり支えて、わたしたちの主イエス・

キリストの日に、非のうちどころのない者にし

てくださいます。9 神は真実な方です。この神

によって、あなたがたは神の子、わたしたちの

主イエス・キリストとの交わりに

招き入れられたのです。

《福音書》

マルコによる福音書

第13章(24節-32節)、

33節から37節

24 「それらの日には、このような苦難の後、

太陽は暗くなり、

月は光を放たず、

25 星は空から落ち、

天体は揺り動かされる。

26 そのとき、人の子が大いなる力と栄光を

帯びて雲に乗って来るのを、人々は見ると

27 そのとき、人の子は天使たちを遣わし、地の

果てから天の果てまで、彼によって選ばれた人

たちを四方から呼び集める。」

28 「いちじくの木から教えを学びなさい。枝が

柔らかくなり、葉が伸びると、夏の近づいたこ

とが分かる。29 それと同じように、あなたがた

は、これらのことが起こるのを見たら、人の子

が戸口に近づいていると悟りなさい。30 はつき

り言うておく。これらのことがみな起こるまで

は、この時代は決して滅びない。31 天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない。」

32 「その日、その時は、だれも知らない。天使たちも子も知らない。父だけがご存じである。」

33 気をつけて、目を覚ましていなさい。その時
がいつなのか、あなたがたには分からないから
である。34 それは、ちようど、家を後に旅に出る
人が、僕たちに仕事を割り当てて責任を持たせ、
門番には目を覚ましているようにと、
言いつけておくようなものだ。35 だから、目を
覚ましていなさい。いつ家の主人が帰って来る
のか、夕方か、夜中か、鶏の鳴くころか、
明け方か、あなたがたには分からないからであ
る。36 主人が突然帰って来て、あなたがたが
眠っているのを見つけるかもしれない。37 あな
たがたに言うことは、すべての人に言うのだ。
目を覚ましていなさい。」

「詩編」については週報をご覧ください。

2020年11月29日

信徒作成

詩編第80編 1節-7節

祈禱書797頁

皆様は太字の節を唱えてください。

|| 後の言葉は、一呼吸おいてからよみましょう。

1. イスラエルの牧者よ、ヨセフを羊の群れのように導く方よ、耳を傾けてください ||

ケルビムの上に座しておられる方よ、光を放ってください

2. エフライム、ベニヤミン、マナセの前に力を現し || わたしたちを救うために来てください

3. 神よ、わたしたちを新たにし || み顔の光を照らし、救ってください

4. 万軍の神、主よ || 民の祈りに向かっていつまで怒りを燃やされるのか

5. あなたは涙のパンをわたしたちに食べさせ || 溢れる涙を飲み物とされた

6. わたしたちは隣り人の争いの種にされ || 敵はわたしたちをあざ笑う

7. 万軍の神よ、わたしたちを新たにし || み顔の光を照らし、救ってください